

授業科目 成人看護学実習 I

【担当教員名】 成人看護教員全員	対象学年	3～4	対象学科	看護
	開講時期	後期前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

健康上の諸問題により手術を受ける対象およびその家族が直面している問題を理解し、急性期から回復期に至る健康レベルの変化を把握し、合併症予防を回り回復を促進するための看護援助と生活拡大を進める教育的働きかけを実践する能力を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 健康上の諸問題により手術を受ける対象の全体像が理解できる。
- 健康上の諸問題により手術を受ける対象の病態および治療について説明できる。
- 急性期から回復期に至る患者の看護問題を把握し、状況に応じた計画を立て、看護が実践及び評価できる。
- 急性期における患者と家族の心理的な危機状況を理解し、必要なかわりがマネジメントできる。
- 急性期から回復期に至る健康レベルの変化を把握し、回復を促進し、生活拡大をするための教育的働きかけを理解する。
- 対象のQOLを支える保健・医療・福祉の連携およびチームにおける看護職の役割を理解し、退院を視野に入れた継続した看護の必要性が理解できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	実習オリエンテーション 病院実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として、手術を受ける患者を受け持ち、看護実践を行う。</li> <li>受け持ち患者が手術を受ける際は、その手術の見学をおこなう。</li> <li>カンファレンスによって、受け持ち患者の理解を深め、看護を実践する。</li> </ul>		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	適宜 提示する			
その他の資料	授業で配布された資料			
【評価方法】 実習内容、実習記録、出席状況、実習態度などを総合して評価する	【履修上の留意点】 体調管理に留意し、欠席しないようにしてください			

看護学  
科  
専  
門